

夏季休暇中の防疫対策の徹底を！！

豚熱のワクチン接種農場での度重なる発生に加え、アフリカ豚熱や口蹄疫、高病原性鳥インフルエンザがアジアやヨーロッパ諸国で発生しています。

このような中、新型コロナウイルスのワクチン接種率が向上し、国内外旅行やオリンピック開催など、人の動きが盛んになってきました。訪日外国人旅行者も少しずつ増加の傾向です。

人・物の動きが激しくなる中、伝染性疾病の国内侵入リスクが高まっています！

畜産農家のみなさんは今一度、飼養衛生管理基準の見直しを行い、防疫対策に万全を期すようお願いいたします。

～主な防疫ポイント～

➤ 発生国への渡航自粛、発生地域への旅行自粛

➤ 侵入防止対策

- ・関係者以外の立ち入り制限
- ・車両の消毒に加え、長靴・服の交換、手指の消毒の徹底
- ・防護柵・防鳥ネットの設置

➤ 飼養家畜の健康チェック&異常の早期発見・通報

～やむをえず渡航する場合は～

- ・家畜市場や畜産関連施設に立ち入らない
- ・肉製品等を持ち帰らない
- ・動物との不用意な接触を避ける
- ・帰国の際は動物検疫所に立ち寄る
- ・帰国後1週間は衛生管理区域に立ち入らない
- ・海外で使用した衣服、靴を衛生管理区域に持ち込まない

★異状がありましたら直ちに家畜保健衛生所へご連絡ください。

中央家畜保健衛生所

岐阜市柳戸1-1 TEL:(058)201-0530 FAX:(058)201-0531

E-mail:c24502@pref.gifu.lg.jp

休日及び平日の時間外(17:30～翌日8:30)の緊急連絡は

TEL:090-7024-5269まで

